

令和4年度福岡県「新進気鋭の芸術家育成事業」

ここから  
飛翔する。  
プログラム2022  
成果展

# ちくごAIR

## プログラム2022 成果展



牛嶋太洋  
(山と海)  
2021年  
(参考作品)

### Ushijima Taiyo

### Kohrogi Yugo



興侶優護  
(72)  
2017年  
(参考作品)

### Takanashi Marika



高梨麻梨香  
(カラテップの躯体)  
2022年  
(参考作品)



宮本華子  
(出られないから、乗ってみた。)  
2020年  
(参考作品)

### Miyamoto Hanako



[福岡会場] 九州芸文館 教室工房1・2  
2023.1.21 [土] ⇒ 2.7 [火]  
[開場時間] 10:00~17:00 (入場は16:30まで)  
[休館日] 月曜日  
九州芸文館

入場  
無料

[東京会場] アーツ千代田3331 B104  
2023.2.15 [水] ⇒ 2.20 [月]  
[開場時間] 11:00~19:00 (入場は18:30まで)  
[休館日] なし  
アーツ千代田3331

入場  
無料

主催：福岡県文化振興課



福岡県では、令和4年度より、国内外での活躍を目指す高い志を持った新進気鋭の芸術家に、セルフラーニングを深める場や機会を提供することで、その成長を促すことを目的に、アーティスト・イン・レジデンス事業(滞在型プログラム)を新たに開始しました。

事業初年度となる令和4年度は、牛嶋太洋(福岡)、興梠優護(熊本)、高梨麻梨香(秋田)、宮本華子(熊本)の4名が、10月から約4ヶ月間、福岡県みやま市の旧上庄小学校を拠点に滞在制作を行ってきました。かつて日本の美術界において、近代洋画隆盛の地として圧倒的な存在感を放ったこの筑後地域で、令和を生きる若手芸術家4名は何を感じ取り、それをどのように制作に反映させていったのでしょうか。本展では、その成果を、福岡県筑後市の九州芸文館と、東京都千代田区のアーツ千代田3331の二会場で発表します。



会期中の  
関連イベント情報につきましては、  
本事業のFacebookページで  
随時お知らせいたします。

# 興梠優護

滞在期間10/3~1/31  
1982年熊本県生まれ、同地在住。人体のモチーフを軸に、光、色彩、視覚といった曖昧で移ろいゆくものに着目し、絵画性の掘りを探る試みを行う。近年は、国内外で中長期的に滞在制作し、根源性と現代性という観点からリサーチと制作、展示を行なっている。主な滞在先としてイギリス、スペイン、ブルガリアなど。



興梠優護 / 72 / 2017年(参考作品)

# 宮本華子

滞在期間10/3~1/31  
1987年熊本県生まれ、荒尾市とベルリンの2拠点で生活。身近でありながら、相容れない他者である「家族」と、向き合うために作品を制作する。近年は、ウエディングドレスや犬小屋を素材としたインスタレーション制作に加えて、熊本の地元・荒尾にてマイクロレジデンスを開き、国内外のアーティストの招聘も行う。レジデンス運用期間は、熊本で生活している。



宮本華子《出られないから、乗ってみた。》2020年(参考作品)

# 牛嶋太洋



牛嶋太洋《山と海》2021年(参考作品)

滞在期間10/3~1/31

1998年福岡県久留米市生まれ、同地在住。大学で映像を学び始める。映像広告会社でのインターンシップにおいて、WebコマーシャルやファッションPVなどの制作を経験するなかで、商業映像に対する疑問とコロナ禍の状況で大学に通う意味を考え中退する。その後、久留米市に帰郷。自分の原点を見つめるために、身近なものや自身の経験を題材にした短編小説の執筆と映像制作に取り組む。



# 高梨麻梨香



高梨麻梨香《ナラティブの躯体》2022年(参考作品)



滞在期間10/24~1/31  
1995年秋田県生まれ、同地在住。建築など都市の視覚的環境の特性に関心を持ち、可視・不可視の「かたち」の堆積としての都市を積分的に分析していくリサーチを通して、自ら録音・編集した音を構成していく。近年は特に、慣行や社会構造からみえる排除の構造に着目し、「ノイズ」を主題としたサウンドインスタレーションを展開している。



福岡会場 九州芸文館 〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131  
TEL:0942-52-6435 <http://www.kyushu-geibun.jp>



【JR利用】  
九州新幹線「筑後船小屋」(博多から約25分)  
下車、徒歩約1分 / JR鹿児島本線「筑後船小屋」  
(博多から快速で約50分) 下車、徒歩約1分

【バス利用】  
西鉄バス50番(久留米-船小屋)「筑後船小屋  
駅前」バス停下車、徒歩約1分

【高速道利用】  
九州自動車道「八女IC」から約10分、「みやま柳川  
IC」から約15分

【駐車場】  
103台(2時間まで無料 / 以降1時間100円)  
※駐車場には台数に限りがございますので、できる限り  
公共交通機関でお越しください。

東京会場 アーツ千代田3331 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14  
TEL:03-6803-2441 <https://www.3331.jp/>



東京メトロ銀座線末広町駅  
4番出口より徒歩1分

東京メトロ千代田線湯島駅  
6番出口より徒歩3分

都営大江戸線上野御徒町駅  
A1番出口より徒歩6分

JR御徒町駅南口より徒歩7分

JR秋葉原駅電気街口より徒歩  
8分

JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩  
15分

※新型コロナウイルス感染拡大の状況や都合により、変更・中止が生じる場合があります。最新の情報は本事業のFacebookページでご確認ください。